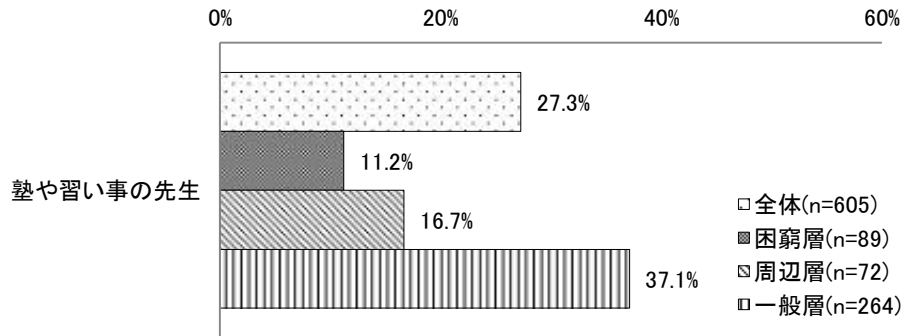


図表 51 子問 5 勉強を教えてもらう人

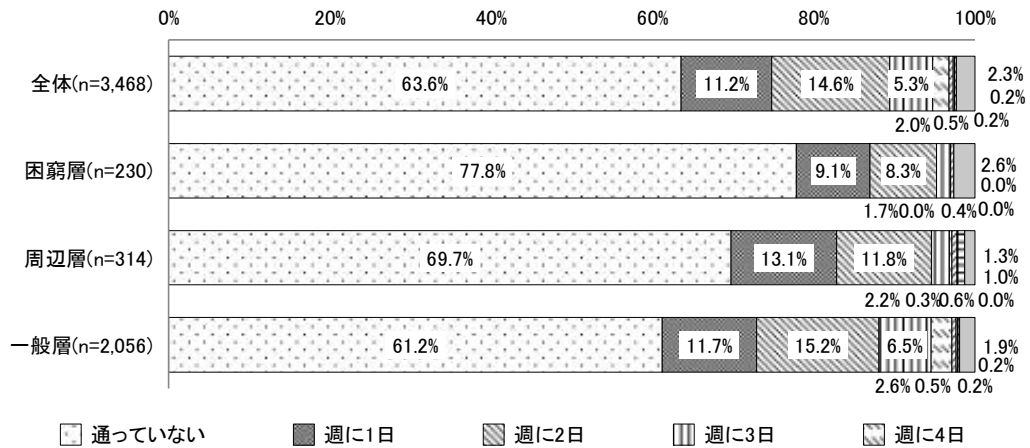
【中学生】 (p<.01)



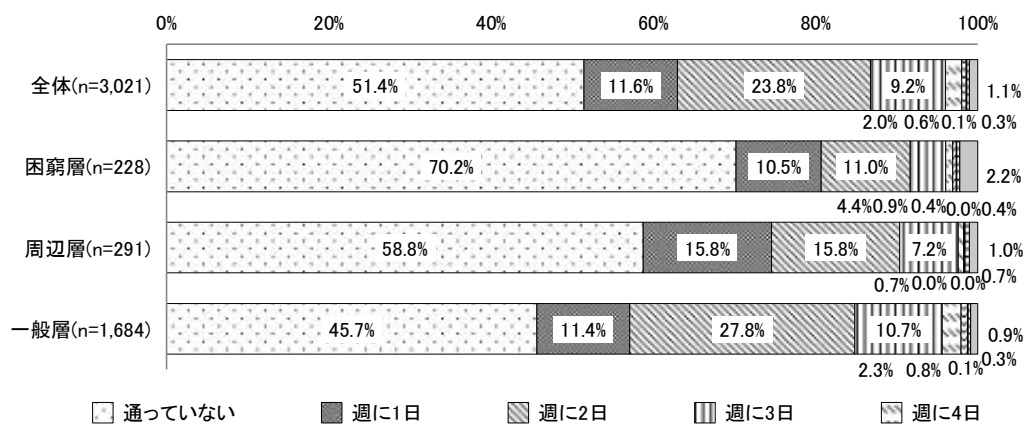
※小学生は有意差なし

図表 52 子問 9 通塾頻度

【小学生】 (p<.01)

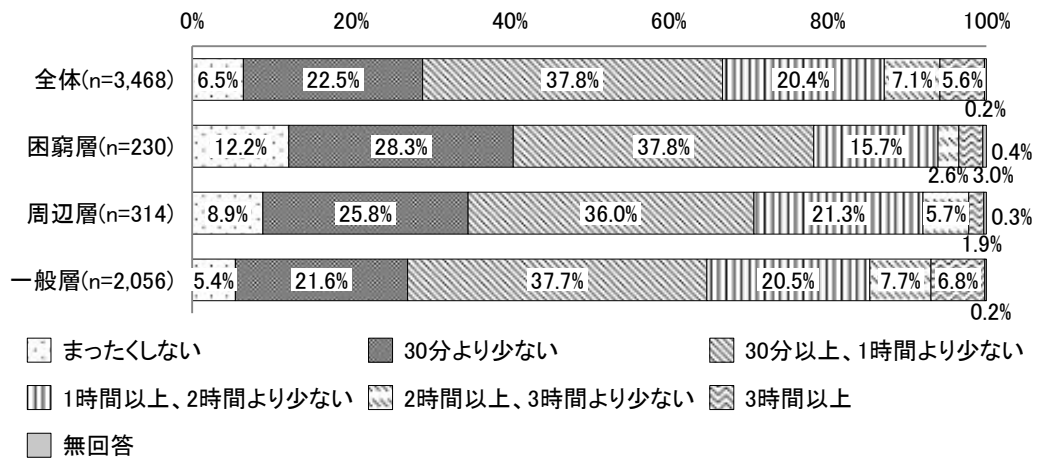


【中学生】 (p<.01)

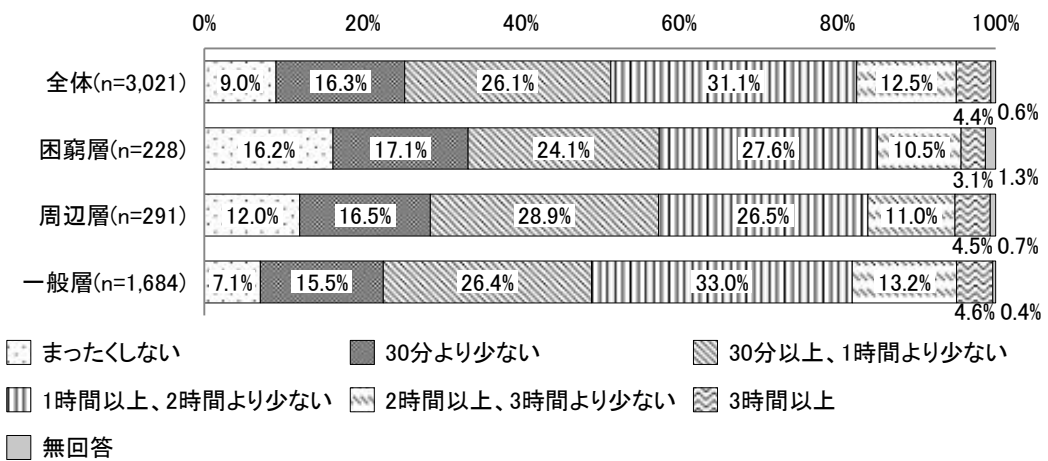


図表 53 子問7 学校外学習時間

【小学生】 (p<.01)

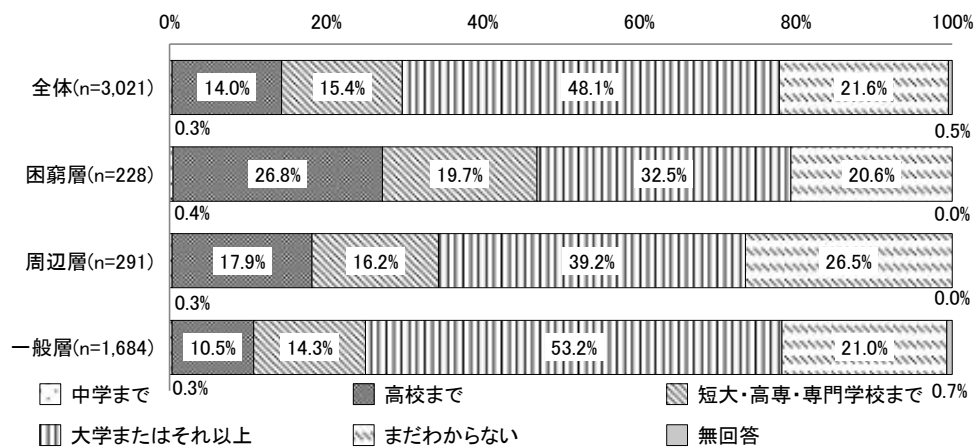


【中学生】 (p<.01)



図表 54 子問10 進路希望

【中学生】 (p<.01)



※対象は中学生のみ

③【保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労支援】

7. 保護者の就労状況

《全体の状況》

- 小学生において、母親の就業状況は「パート・アルバイト」の割合が一般層よりも困窮層・周辺層において高くなっているが、中学生においては困窮状況による差がみられない。(図表 55)
- 困窮層の場合、父親の就業形態は「民間企業の正社員」「公務員などの正職員」の割合が一般層での割合よりも低くなっている。(図表 56)

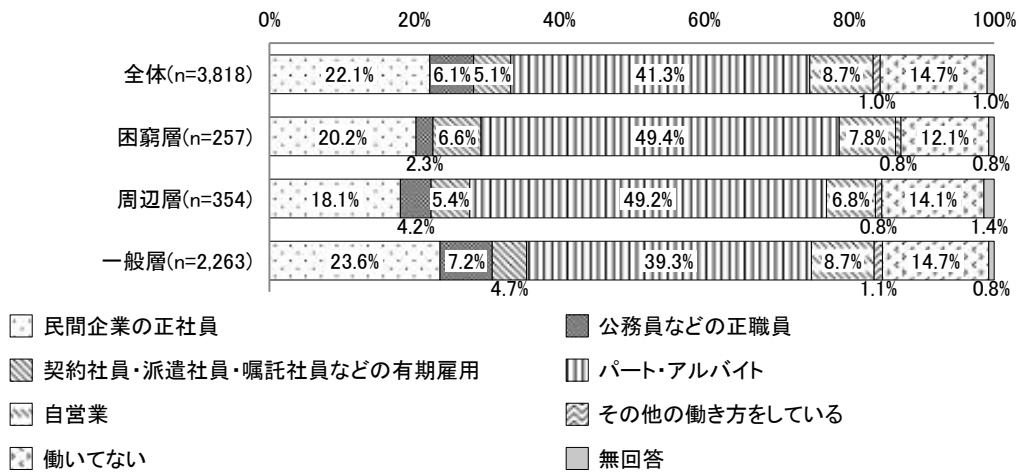
《結果概要》

困窮層、周辺層、一般層の違いは、母親の就業状況よりも父親の就業状況との関係が強くみられる。

《関連項目》

図表 55 保問9 母親の就業状況

【小学生】(p<.01)

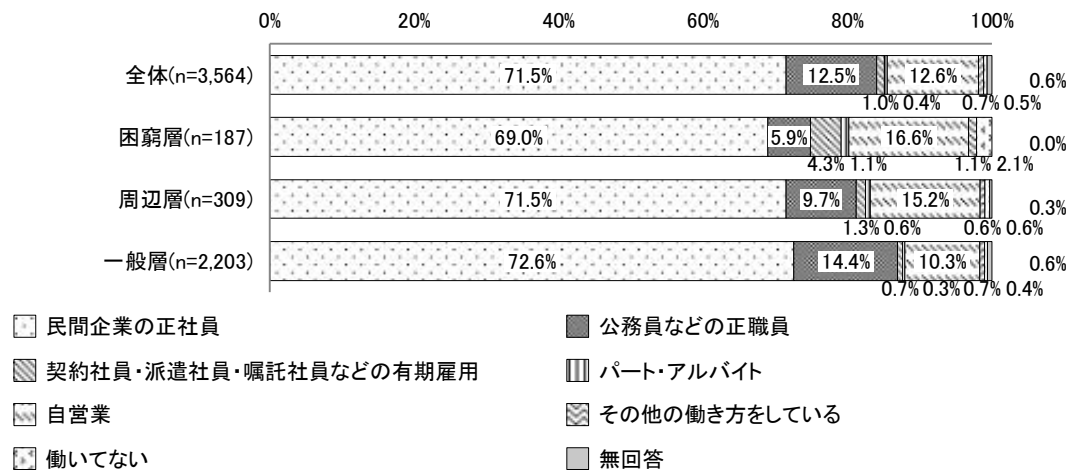


※対象は保護者票問4で母親と同居していると回答した世帯

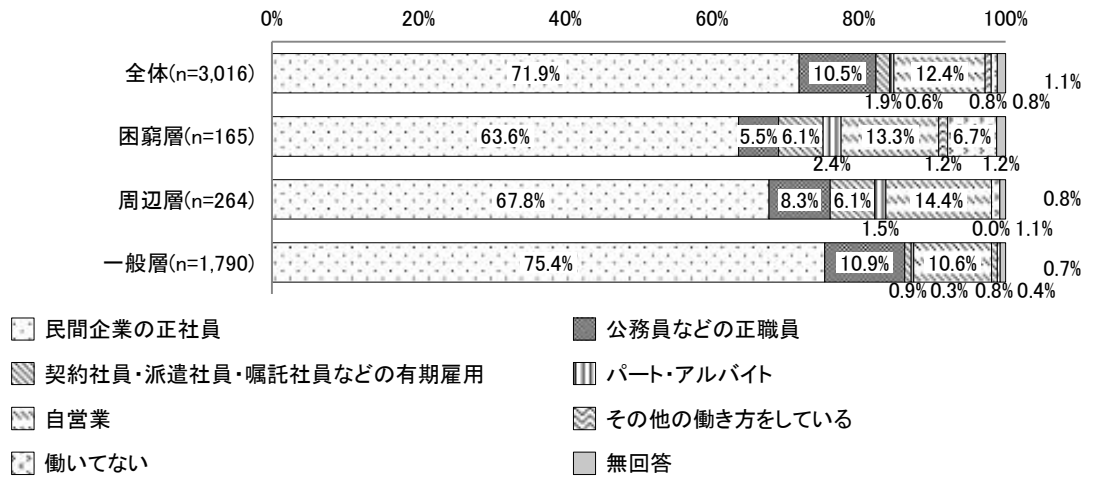
※中学生は有意差なし

図表 56 保問10 父親の就業状況

【小学生】(p<.01)



【中学生】 (p<.01)



※対象は保護者票問4で父親と同居していると回答した世帯

④ 【経済的支援】

8. 経済的支援制度の利用状況

《全体の状況》

- ・ 困窮層において、多くの支援制度について「利用したいと思っただけでなかった」がかなりの割合を占めている。また、貧困層、周辺層において「利用したかったが条件を満たしていなかった」や「制度等について全く知らなかった」と回答した保護者が一定数存在する。(図表 57～図表 63)
- ・ 児童扶養手当、就学援助費については、困窮層においても「現在利用している」と「利用したことがある」を合わせた割合がそれぞれ、4割程度、4割弱となっている。(図表 58、図表 59)

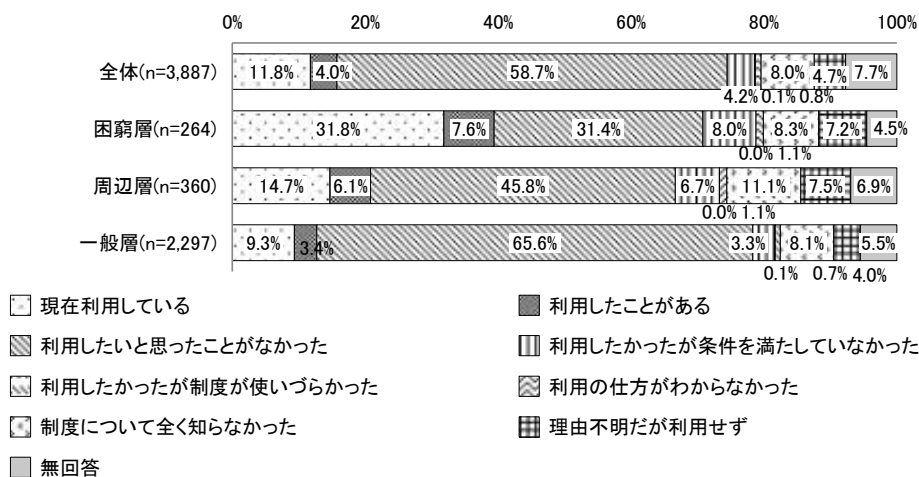
《結果概要》

貧困層に対して、各種の経済的支援が行き届いていない状況がみられる。

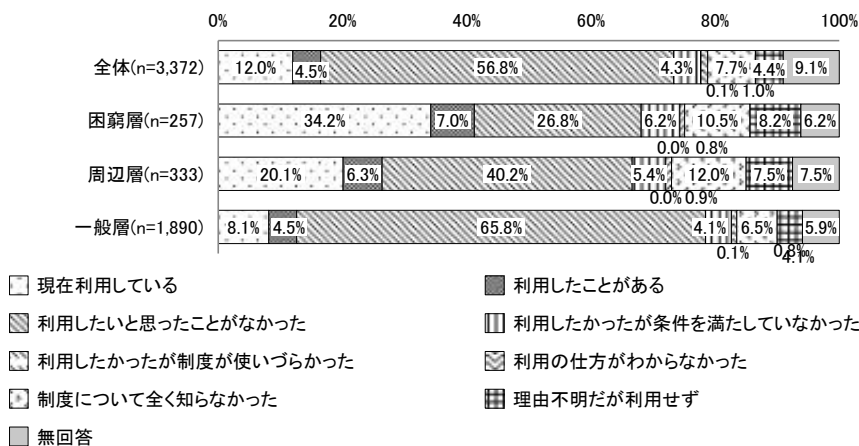
《関連項目》

図表 57 保間 47-B 児童扶養手当の利用状況

【小学生】 (p<.01)

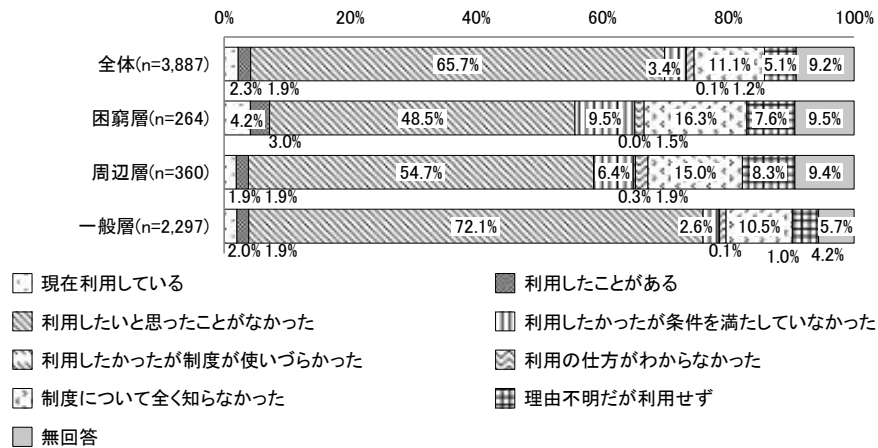


【中学生】 (p<.01)

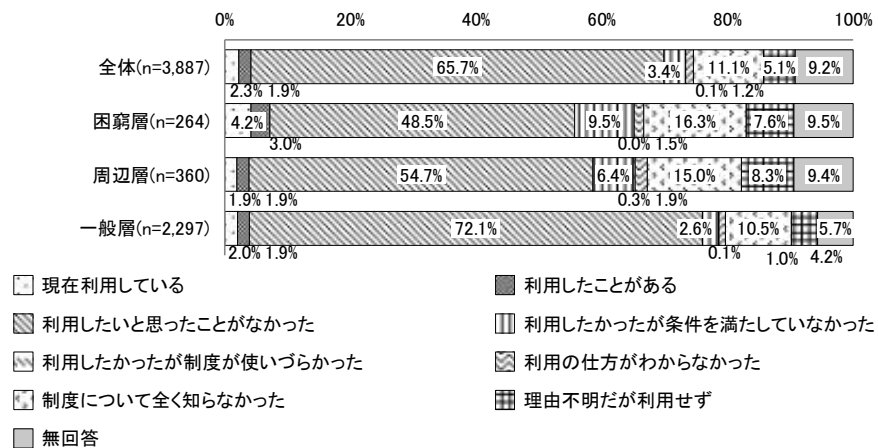


図表 58 保問 47-C 特別児童扶養手当の利用状況

【小学生】 (p<.01)

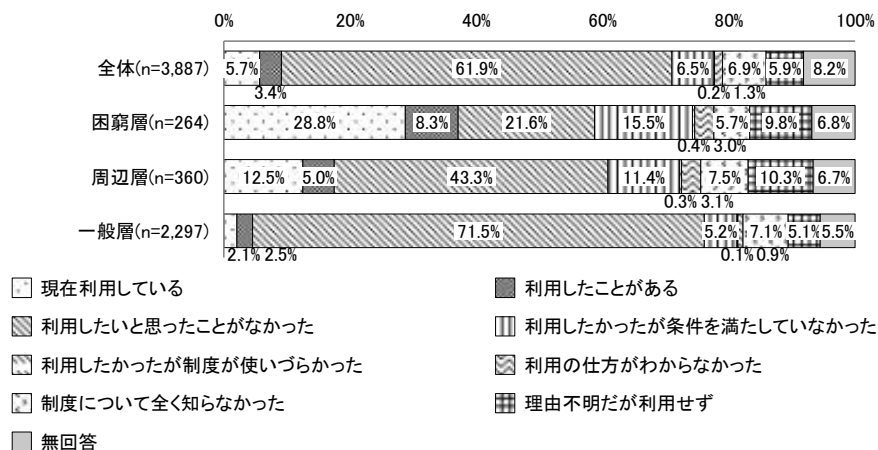


【中学生】 (p<.01)

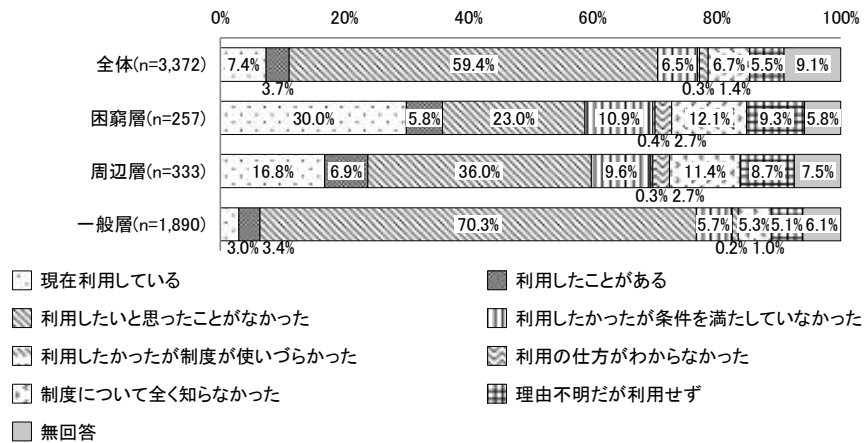


図表 59 保問 47-D 就学援助費の利用状況

【小学生】 (p<.01)

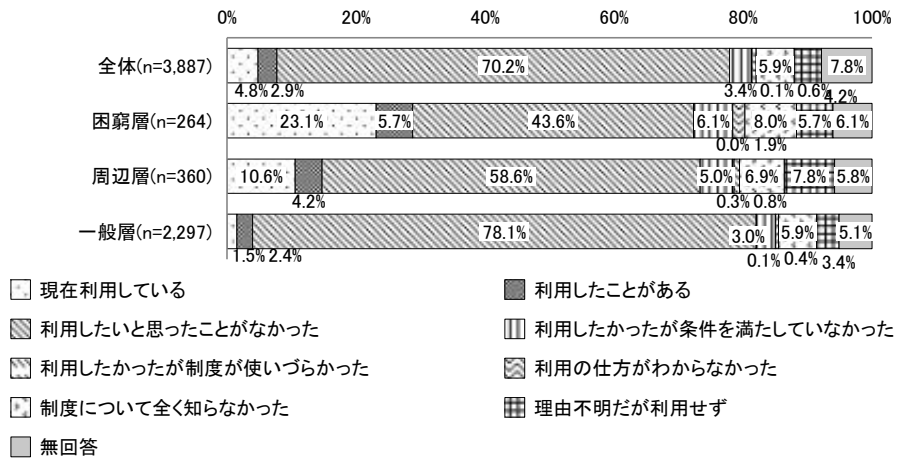


【中学生】 (p<.01)

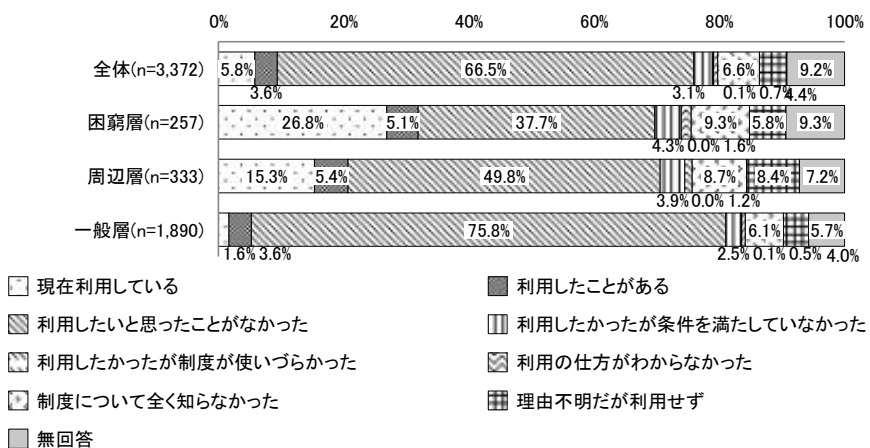


図表 60 保間 47-F ひとり親家庭等医療費等助成の利用状況

【小学生】 (p<.01)

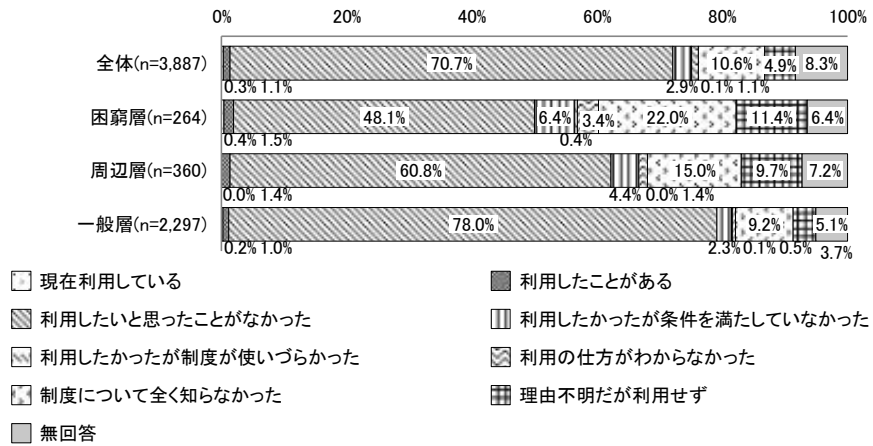


【中学生】 (p<.01)

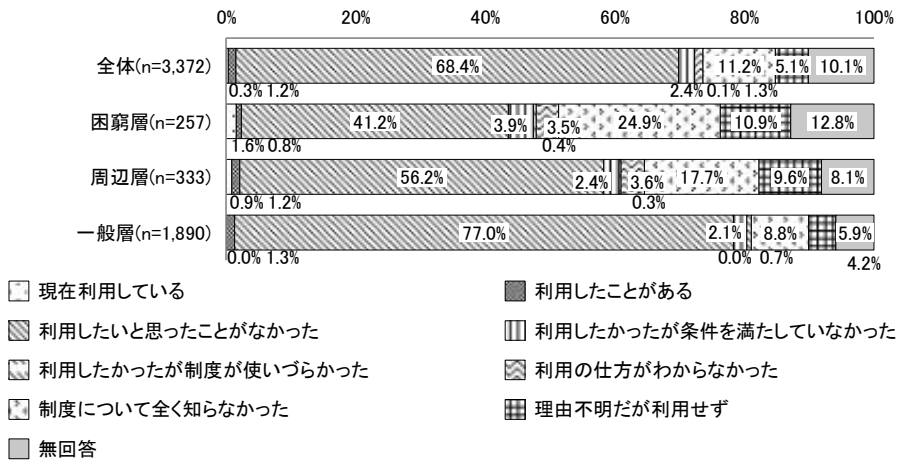


図表 61 保間 47-G 母子・父子・寡婦福祉資金の利用状況

【小学生】 (p<.01)

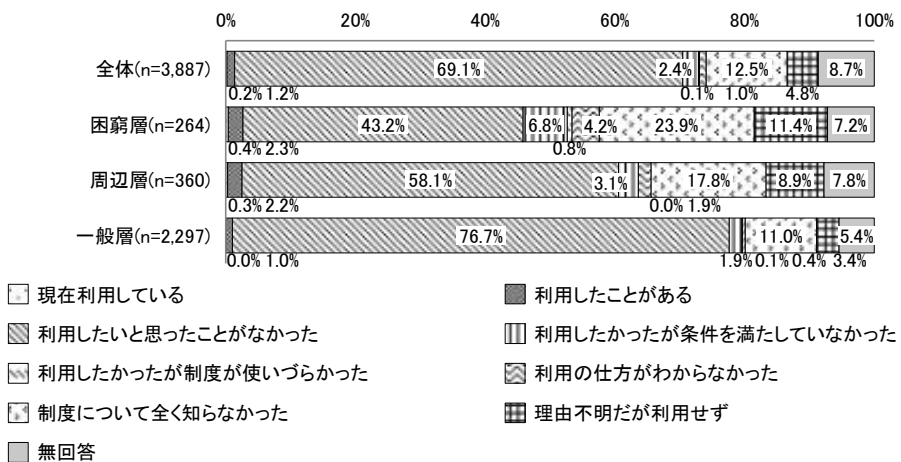


【中学生】 (p<.01)



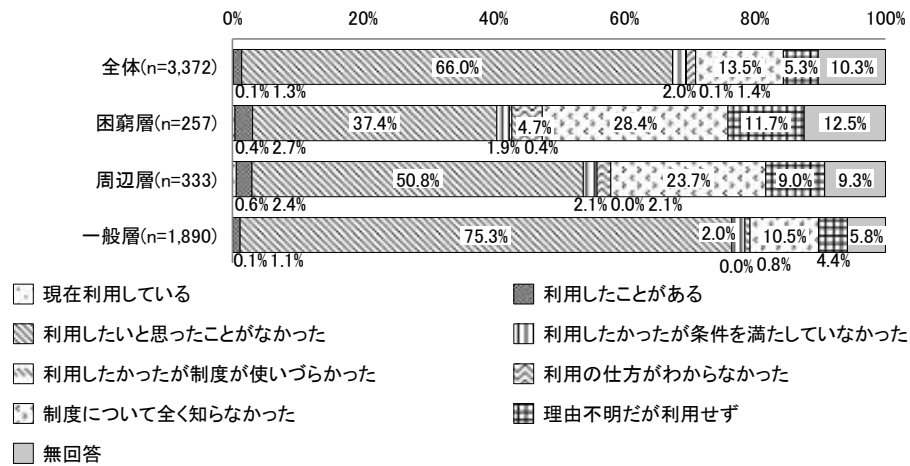
図表 62 保間 47-H 生活福祉資金の利用状況

【小学生】 (p<.01)



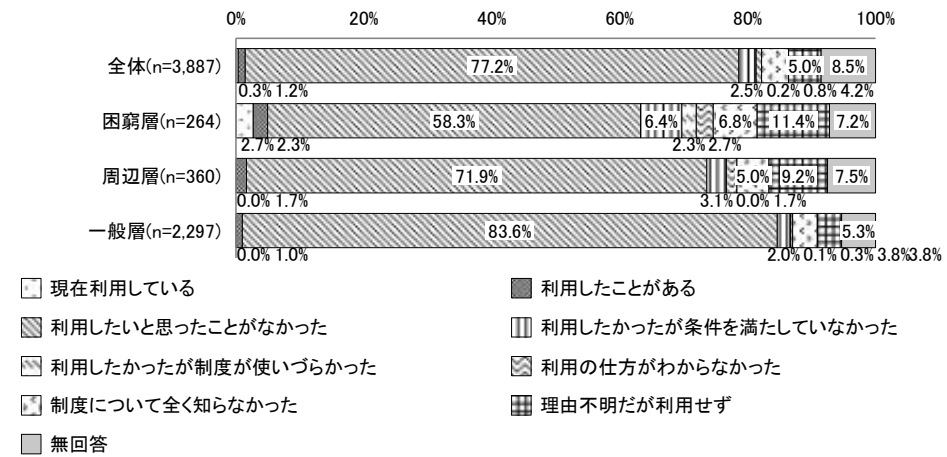


【中学生】 (p<.01)

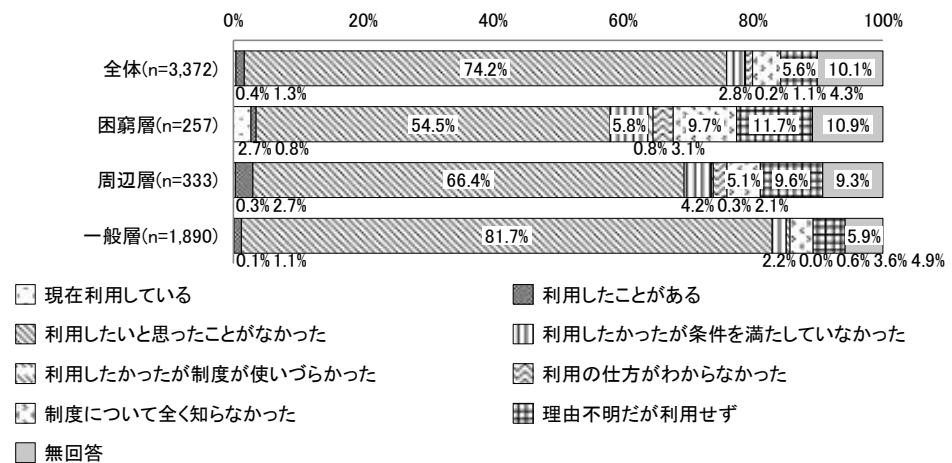


図表 63 保間 47-I 生活保護の利用状況

【小学生】 (p<.01)



【中学生】 (p<.01)



⑤【支援につなぐ体制整備】

9. 子育て支援制度・相談機関の利用状況

《全体の状況》

- ・ こどもの所有物について、困窮層に比べて一般層の方が所有している割合が高い傾向がある一方で、スマートフォンなど、困窮層でも高い割合で所有しているものもある。(図表 64)
- ・ こどもに関する支援制度等の情報の受け取り方法で最も割合の高いものは「学校からのお便り」。「行政の広報誌」や「学校からのメール」、「家族・友人」から情報を受け取っている割合は一般層に比べて困窮層の方が低い。(図表 65)
- ・ 公的機関の中で保護者が相談した経験があると回答した割合が最も高かった相談先は「学校や幼稚園、保育園の先生」。一方、学校や幼稚園、保育園の先生に対し「相談しなかったが抵抗感があった」と回答した保護者の割合は、一般層に比べて困窮層の方が高い。(図表 66)
- ・ 小中学生いずれの保護者も、スクールカウンセラーに対して「相談しなかったが抵抗感があった」、「相談する窓口や方法がわからなかった」と回答した割合は一般層に比べて困窮層で高い。(図表 67)
- ・ 子育て支援サービスの中で保護者が「利用したことはないが興味がある」とする割合がもっとも高いのは「こども食堂」であり、小学生においては特に困窮層・周辺層で関心が高い。(図表 68)

《結果概要》

所有しているものや外見だけでは判断できない貧困がある。

こどもに関する支援制度等の情報の受け取り先や、相談する先としていずれも学校が中心となっているが、困窮層ほど学校への相談に対して抵抗感を感じ、相談できていない可能性がある。

また、各支援サービスの中で、特にこども食堂への関心が高まっているものの、必要な人にまで届いていない可能性がある。

《関連項目》

図表 64 子問 26 利用できるもの\_「ある」と回答した割合 (再掲)

【小学生】

	自分だけの本 [*]	こども部屋 [**]	インターネット につながる パソコン、タ ブレット	自宅で宿題を することがで きる場所[**]	自分専用の勉 強机[*]	スポーツ用品 [**]	ゲーム機[**]
全体(n=3,463)	88.5	83.4	83.8	85.1	84.4	87.0	84.0
困窮層(n=230)	58.3	53.0	57.4	78.5	54.8	53.5	73.9
周辺層(n=314)	61.5	69.1	60.2	85.7	65.0	67.2	82.5
一般層(n=2,056)	87.8	84.0	84.2	88.5	85.1	88.9	84.5

	多くの友だち が持っている おもちゃ[*]	自転車[**]	おやつや、 ちょっとした おもちゃを 買うおこづかい [**]	友だちが着て いるのと同じ ような服[*]	2足以上のサ イズのあった 靴[**]	けいたい電 話、スマート フォン	けいたい音楽 プレイヤー
全体(n=3,463)	44.3	36.3	73.6	46.4	75.6	52.3	17.6
困窮層(n=230)	36.5	78.7	58.3	40.9	69.1	55.2	18.7
周辺層(n=314)	47.5	37.9	70.4	45.5	73.6	52.9	20.4
一般層(n=2,056)	45.3	87.1	75.2	47.1	77.2	53.2	16.7

[\*\*]:p<.01, [\*]:p<.05

【中学生】

	自分だけの本 [*]	子ども部屋 [**]	インターネットにつながるパソコン、タブレット[**]	自宅で宿題をすることができるところ[**]	自分専用の勉強机[**]	スポーツ用品 [**]	ゲーム機[**]
全体(n=3,021)	75.5	78.8	72.8	89.5	81.1	72.7	82.4
困窮層(n=228)	71.5	84.5	55.7	78.5	69.7	62.3	87.1
周辺層(n=291)	74.6	72.5	71.8	86.3	81.4	70.1	81.8
一般層(n=1,684)	77.9	80.3	75.7	92.5	83.8	74.9	84.6

	多くの友だちが持っているおもちゃ[**]	自転車[**]	おやつや、ちょっとしたおもちゃを買いおこづかい[**]	友だちが着ているのと同じような服[**]	2足以上のサイズのあった靴[**]	けいたい電話、スマートフォン	けいたい音楽プレーヤー
全体(n=3,021)	45.1	88.9	75.5	45.5	79.7	89.3	39.7
困窮層(n=228)	34.6	76.8	60.1	33.8	69.7	89.5	37.3
周辺層(n=291)	47.4	83.5	75.9	43.8	77.0	88.3	39.9
一般層(n=1,684)	47.1	89.1	79.0	48.2	82.1	90.0	40.5

[\*\*]: p<.01, [\*]: p<.05

図表 65 保間 49\_1\_支援制度に関する情報の受け取り方法 (現在)

【小学生】

	行政の広報誌[**]	行政機関のホームページ	SNS[**]	学校からのお便り	学校からのメール[**]	家族や友人からの情報[**]	その他	無回答
全体(n=3,887)	39.8	25.8	20.7	73.5	56.4	39.9	2.0	9.8
困窮層(n=264)	29.9	22.7	18.6	65.9	44.3	30.3	1.1	14.0
周辺層(n=360)	37.8	26.1	28.1	73.1	56.7	43.9	2.5	8.6
一般層(n=2,297)	43.4	28.0	21.2	76.4	59.2	41.9	1.9	7.5

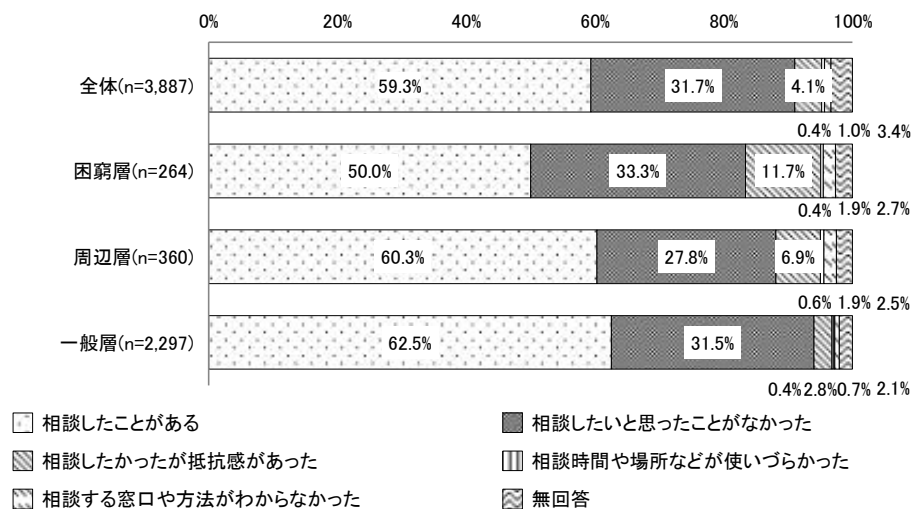
【中学生】

	行政の広報誌[*]	行政機関のホームページ	SNS	学校からのお便り	学校からのメール[**]	家族や友人からの情報[*]	その他	無回答
全体(n=3,372)	43.3	28.3	19.8	72.6	59.3	38.6	2.1	9.5
困窮層(n=257)	37.4	26.8	25.7	71.6	51.0	33.5	1.6	8.2
周辺層(n=333)	46.2	28.2	22.5	70.6	59.2	41.4	2.7	9.6
一般層(n=1,890)	45.3	30.8	20.2	75.2	62.4	41.6	2.1	7.0

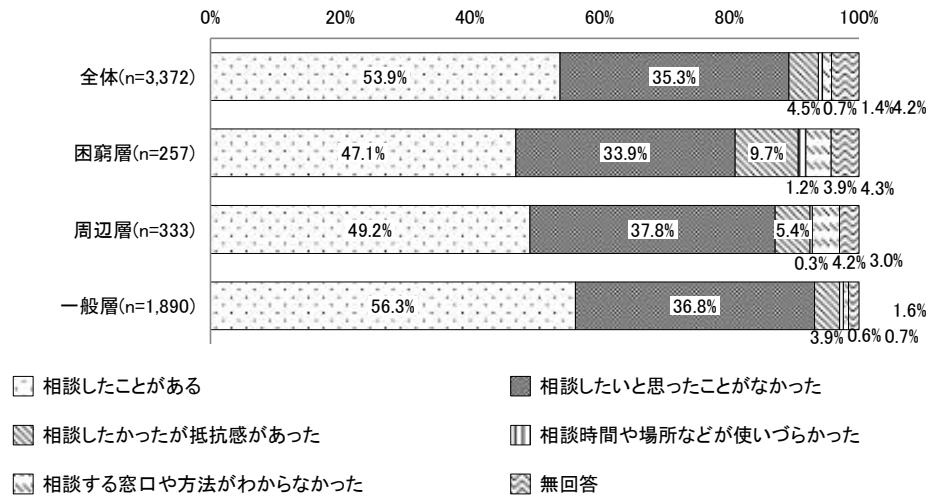
[\*\*]: p<.01, [\*]: p<.05

図表 66 保間 48 公的機関への相談状況\_学校・保育所・幼稚園の先生

【小学生】 (p<.01)

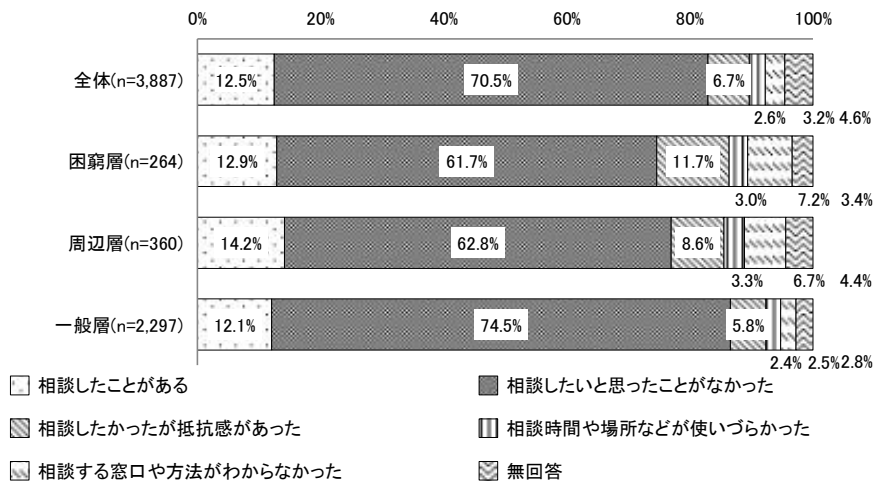


【中学生】 (p<.01)

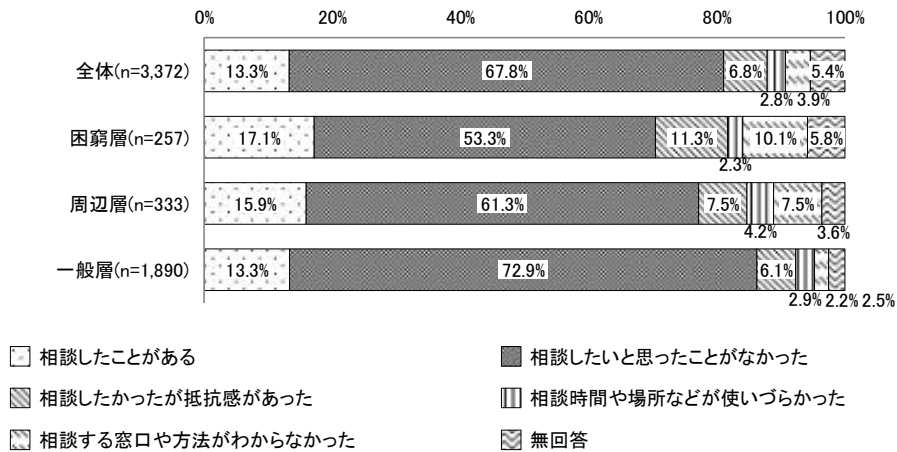


図表 67 保問 48 公的機関への相談状況\_スクールカウンセラー

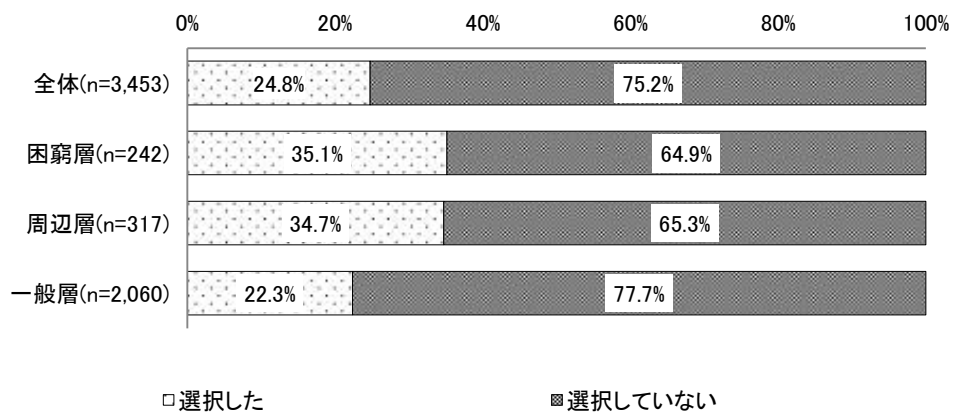
【小学生】 (p<.01)



【中学生】 (p<.01)



図表 68 保間 46-E 利用したことはないが興味がある\_こども食堂  
【小学生】 (p<.01)



※中学生は有意差なし

※対象は保間 46-E で「利用したことがある」以外を選択した世帯

⑥ 【コロナ禍の影響】

10. 新型コロナウイルス感染症の影響について

《全体の状況》

・新型コロナウイルス感染症が流行し始めた頃（2020年頃）とそれまでの変化を聞いたところ、小中学生いずれの保護者においても、「世帯全体の収入」が減ったと回答した割合や、「お金が足りなくて必要な食料や衣服を買えないこと」「保護者自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」が増えたと回答した割合は、一般層よりも困窮層で高い。

（図表 69、図表 70、

図表 71）

・子どもにおいては、小中学生いずれも、「学校の授業がわからないと感じること」が増えたと回答した割合は、一般層よりも困窮層で高い。（図表 72）

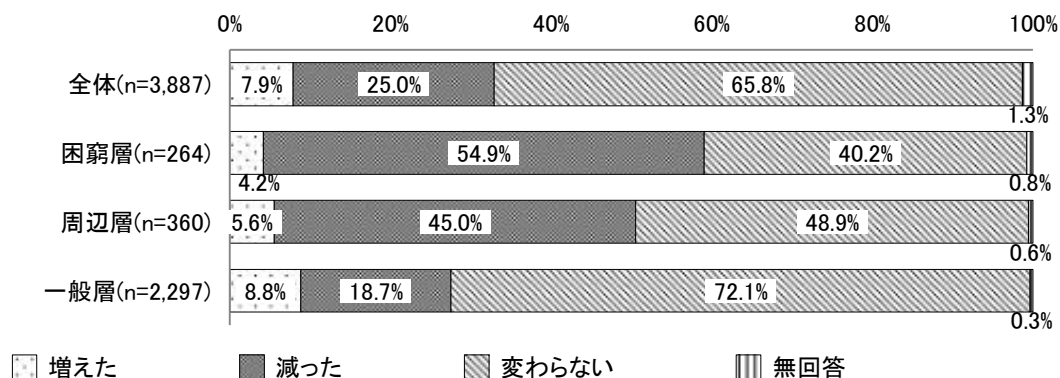
《結果概要》

新型コロナウイルス感染症による影響は特に困窮層において大きかった。困窮層の保護者は経済面・メンタル面で大きな影響を受けていた一方、子どもにおいては休校等による学習の遅れの格差が拡大していたことが推察される。

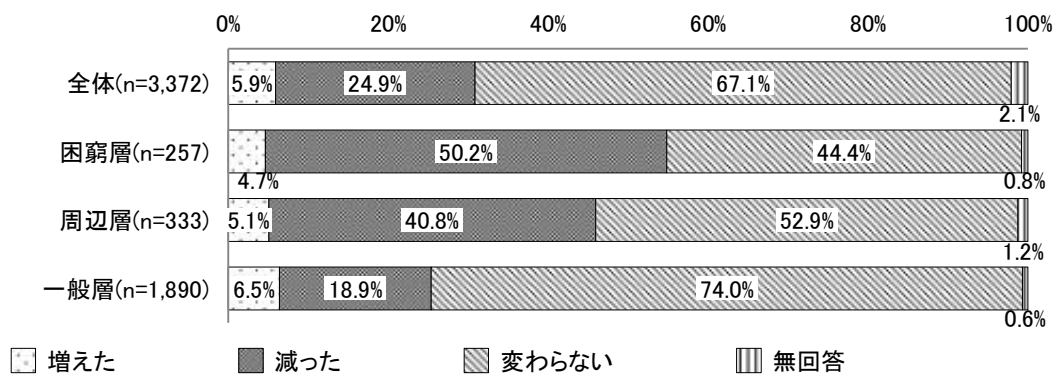
《関連項目》

図表 69 保間 34A\_コロナ流行頃の生活状況\_世帯全体の収入の変化

【小学生】（p<.01）

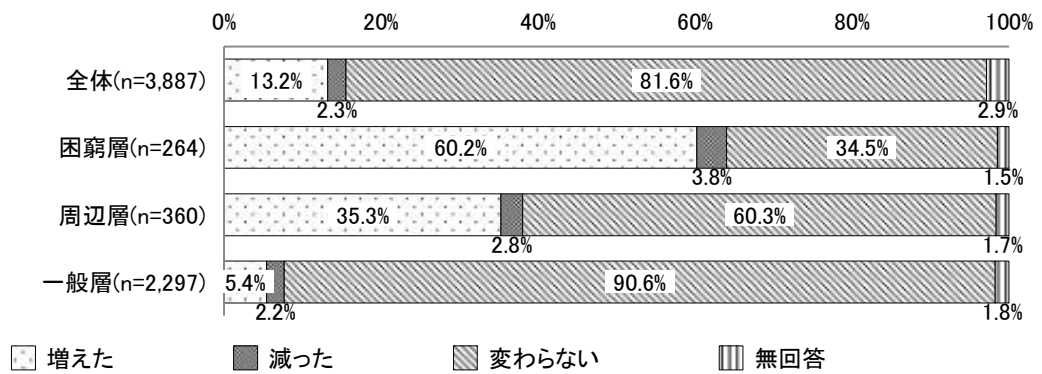


【中学生】（p<.01）

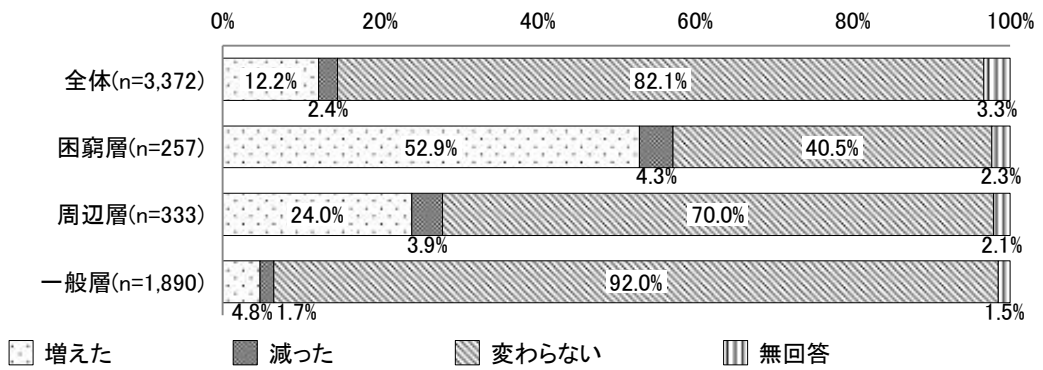


図表 70 保問 34C\_コロナ流行頃の生活状況  
 お金が足りなくて必要な食料や衣服を買えないこと

【小学生】 (p<.01)

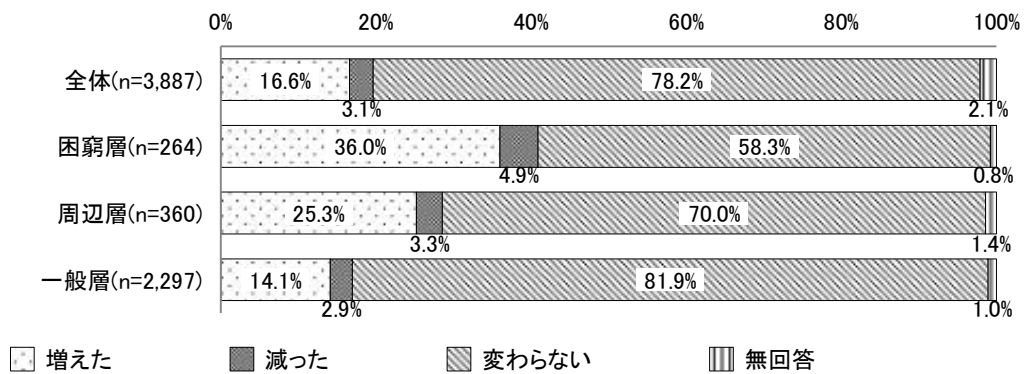


【中学生】 (p<.01)

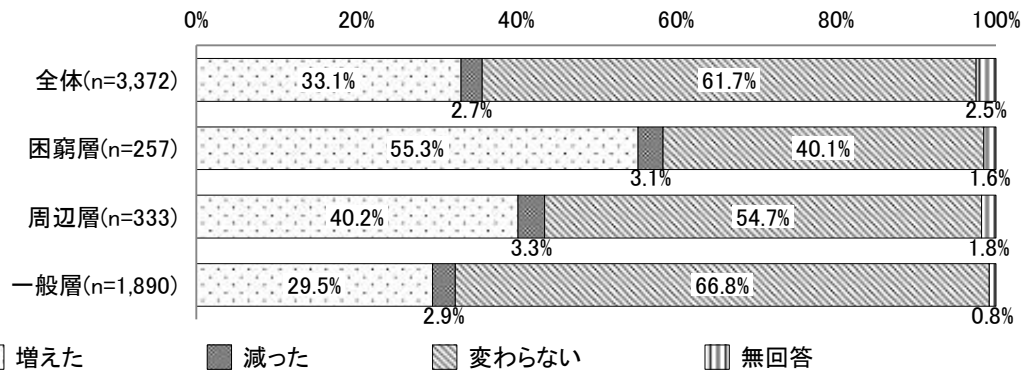


図表 71 保問 34F\_コロナ流行頃の生活状況  
 あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

【小学生】 (p<.01)

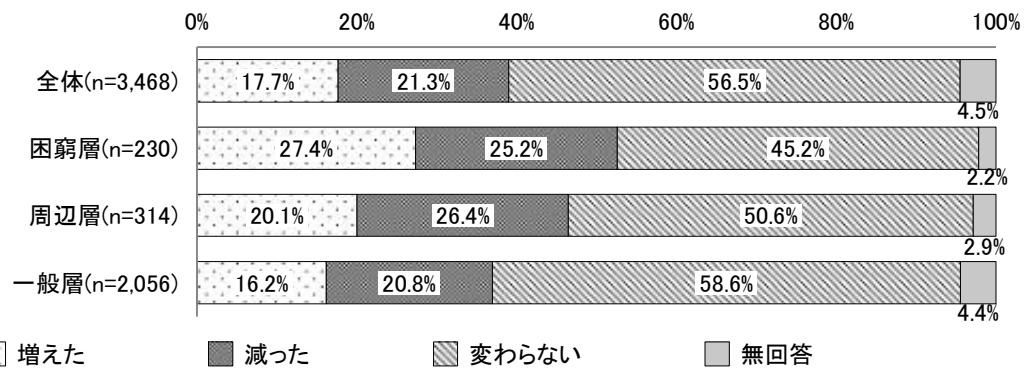


【中学生】 (p<.01)



図表 72 子問 35B\_コロナ流行頃の生活状況  
学校の授業がわからないと感じること

【小学生】 (p<.01)



【中学生】 (p<.01)

